

令和6年度 道徳教育 全体計画

学校番号	60	赤穂	高等学校	定時制 課程	普通 科
------	----	----	------	--------	------

学校教育目標	
憲法及び教育基本法の本質に基づき、特に次の事項に留意して教育実践に当たる。	
1	生徒の自主性を高め、個性を伸ばし、社会性を養い、実践力のある社会人の育成に努める。
2	社会および自然に関する科学的思考力を高め、人文領域への関心を深めさせることで総合的学力の涵養をはかる。
3	体育および芸術教育を通して、情操教育を尊重し、心身の調和的発達を期する。
4	課程・学科の性格を明確にし、相互の協力をはかるなかで、地域に根ざし、特色の発揮に努める。

重点目標（中・長期的目標）	
1 自ら学ぶ学習習慣の確立をめざし、自己の進路実現のできる確かな学力を身につけさせる。	
2 社会の形成者として必要な規範意識の向上をはかり、基本的な生活習慣の確立と自律的な行動のできる力を養成する。	
3 地域に根ざし、開かれた学校づくりを推進し、普通科・商業科の特色を発揮できるよう努力する。	

道徳教育の重点目標	
1	自己探求や自己実現を図るとともに、自分や自分の将来を大切にできるように自己肯定感を養う。
2	豊かな心を育むとともに、自立した人間として他者の人権を尊重する態度を養う。
3	他者と共に協力しながら課題を見つけ、解決していく態度を養う。



学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等
1年	○継続的に登校し毎時間の授業に真摯に参加することによって向上心を持つ。	○円滑な人間関係を確立し、就労を目指す。	○信頼しあう人間関係構築の土台としてあいさつや返事がきちんとできるようにする。	○行事を通して、他者と協力する力を養う。 ○クラブ活動に参加することで、体を動かすことの喜びを体験する。
2年	○規律ある学校生活を送り基礎学力の定着を目指しながら学習の質を高める。	○就労や学校での学習を通して、社会のしくみを理解し将来について考える。	○当番や清掃などの学級活動を通じて、学級内での自分の役割を考え協力しながら活動できるようにする。	○他者と協力しつつ、自律した行動に努める。 ○クラブ活動で1日の生活のリズムを身につける。基本的生活習慣を身につける。
3年	○学力向上に励みながら、社会のしくみや動きに興味を持つ。	○自分の役割に対する責任感と、与えられたことは、正確に実行し最後までやり遂げる能力を身につける。	○当番や清掃などの学級活動において自分の役割を果たし、また、他者と協力できるようにする。	○主体的な行動を育むとともに、他者との協調性を養う。 ○日ごろの練習を通して、目標に向け努力する姿勢を身につける。
4年	○広く知識を吸収しながら社会の中で自分の果たす役割を考える。 ○自分を大切にするとともに、他者を大切にする視点を身につける。	○社会の形成者としての自覚を持ち、広い視野で行動できるようにする。	○集団の中で互いに協力しながら課題を見つけ解決する態度を身につける。	○社会の一員としての行動・態度を身につけ、人間性の成長に努める。 ○生涯スポーツに取り組む姿勢を身につけ、各自のライフスタイルを確立する。

各教科	
国語	古典文学や現代文、詩歌を読み味わうことを通じて、ものの見方や考え方、相手を思いやる気持ちを養う。
地理歴史	地理や歴史を学び、諸地域や歴史文化について理解を深めるとともに、他者を尊重する態度を養う。
公民	政治や法律、経済等の様々な制度や文化を学び、社会問題について関心を深めるとともに、社会性や実践力を養う。
数学	科学的、論理的な思考力を養うことで肯定的な考えだけでなく、批判的な考え方も養う。
理科	自然と人間生活との関わりについて認識を深める中で、豊かな社会を形成するための科学的な自然観と、生命を尊重する態度を養う。
保健体育	授業に主体的に取り組むことにより、集団行動やコミュニケーション能力を身につけ、より良い人間関係を構築する。
芸術	芸術活動に主体的に取り組むことで、個性を伸ばすと共に、他者を尊重し、豊かな情操を養う。
外国語	外国文化にかぎらず、自分と異なる考え方や習慣・経験・歴史・文化を持つ他者に対する理解や対応を考えることを通じて、他者やひいては自分への寛容で受容的な態度を育成する。
家庭	ジェンダーにとらわれない自分らしい生き方を実現するために必要な知識と技術を習得し家庭生活の充実・向上をはかる実践的な態度を身につける。
情報	情報モラルやセキュリティへの対処の仕方を学び、情報機器を活用したコミュニケーションにおいても他者への配慮を大切にする態度を養う。
総合的な探究の時間	探究活動に主体的・協同的に取り組む中で自己の在り方・生き方を考えながら、人間的な幅を広げ、他者とよりよい関係を築くことができる豊かな心を養う。



家庭・地域との連携	家庭・保護者との連携を密にし、必要に応じて地域や振興会・生徒の職場とも協力し、生徒の心身の発達につながるよう教育実践にあたる。
-----------	---